



平成31年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年4月12日

上場会社名 株式会社 大庄

上場取引所 東

コード番号 9979 URL <http://www.daisy.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平 了寿

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 野間 信護

TEL 03-5764-2229

四半期報告書提出予定日 平成31年4月12日

配当支払開始予定日

平成31年5月21日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年8月期第2四半期の連結業績(平成30年9月1日～平成31年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年8月期第2四半期	30,478	0.5	251	207.4	266	227.4	94	
30年8月期第2四半期	30,627	5.0	81	57.9	81	59.7	257	

(注) 包括利益 31年8月期第2四半期 168百万円 (%) 30年8月期第2四半期 243百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年8月期第2四半期	4.56	
30年8月期第2四半期	12.45	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年8月期第2四半期	43,013	22,070	50.8	1,057.26
30年8月期	42,511	22,409	52.2	1,073.70

(参考) 自己資本 31年8月期第2四半期 21,868百万円 30年8月期 22,208百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年8月期		6.00		8.00	14.00
31年8月期		6.00			
31年8月期(予想)				8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 8月期の連結業績予想(平成30年 9月 1日～平成31年 8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,530	0.0	805	98.0	820	108.3	70	65.4	3.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年8月期2Q	21,198,962 株	30年8月期	21,198,962 株
期末自己株式数	31年8月期2Q	514,884 株	30年8月期	514,834 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年8月期2Q	20,684,107 株	30年8月期2Q	20,684,188 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済政策・金融政策の効果为背景に、企業収益や雇用環境の改善が見られたものの、金融市場の変動や海外経済情勢の不確実性などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。外食業界におきましては、消費者の強い節約志向に加え、食材の高騰や人手不足が続く中での人件費の高騰など、依然として厳しい環境が続きました。

このような状況下において、当社グループは、前期までの施策による投資効果を実現させ投資回収を図るため、巡航速度での店舗リストラクチャリングの取組み、店舗業態・MD（マーチャンダイジング）の充実化及び差別化、店舗運営の生産性向上への取組み、従業員教育とモチベーションアップ策の拡充、外販事業の拡大等の施策に取り組みました。

一方、店舗展開におきましては、新規出店を 8 店舗、店舗改装を 12 店舗、店舗閉鎖を 13 店舗で行いました。

この結果、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ 0.5% 減少の 30,478 百万円となりました。

セグメント別では、飲食事業につきましては、当社グループの既存店売上高が対前年比 100.3% と増加したものの、前期に実施した店舗閉鎖による売上減少が影響し、売上高は前年同期に比べ 2.6% 減少の 23,591 百万円となりました。

卸売事業につきましては、グループ外部取引先への食材卸売が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ 0.4% 増加の 2,083 百万円となりました。

不動産事業につきましては、転賃を含む賃貸物件の家賃収入が減少したこと等により、売上高は前年同期に比べ 1.1% 減少の 554 百万円となりました。

フランチャイズ事業につきましては、「ボランティアチェーン（VC）制度」の推進に伴う事業の拡大により、売上高は前年同期に比べ 9.4% 増加の 237 百万円となりました。

運送事業につきましては、物流子会社が行うグループ外部取引先への配送業務が増加したことにより、売上高は前年同期に比べ 14.0% 増加の 3,728 百万円となりました。

その他事業につきましては、売上高は前年同期に比べ 1.9% 増加の 282 百万円となりました。

一方、利益面につきましては、営業利益は 251 百万円（前年同期比 207.4% 増）、経常利益は 266 百万円（同 227.4% 増）、親会社株主に帰属する四半期純損失は 94 百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失 257 百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第 2 四半期連結会計期間末における流動資産は 16,622 百万円となり、前連結会計年度末に比べて 886 百万円増加となりました。これは、現金及び預金が 1,218 百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は 26,372 百万円となり、前連結会計年度末に比べて 384 百万円減少となりました。これは、敷金及び差入保証金が 215 百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第 2 四半期連結会計期間末における流動負債は 9,138 百万円となり、前連結会計年度末に比べて 32 百万円増加となりました。これは、未払消費税等が 227 百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定負債は 11,805 百万円となり、前連結会計年度末に比べて 808 百万円増加となりました。これは、長期借入金が 834 百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第 2 四半期連結会計期間末における純資産は 22,070 百万円となり、前連結会計年度末に比べて 339 百万円減少となりました。これは、配当金の支払いや親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が 259 百万円減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,218百万円増加の13,333百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況については、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,552百万円の資金収入（前年同期は1,152百万円の資金収入）となりました。収入の主な内訳は減価償却費845百万円及び売上債権の増加額243百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,146百万円の資金支出（前年同期は2,286百万円の資金支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出969百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、811百万円の資金収入（前年同期は2,661百万円の資金収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1,898百万円等に対し、長期借入れによる収入2,800百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年10月15日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日発表の「第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成31年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,164	13,382
売掛金	2,111	1,849
商品及び製品	546	546
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	154	156
その他	911	811
貸倒引当金	△153	△123
流動資産合計	15,736	16,622
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,137	10,102
機械装置及び運搬具(純額)	659	646
工具、器具及び備品(純額)	621	599
土地	3,699	3,699
リース資産(純額)	108	78
建設仮勘定	7	6
有形固定資産合計	15,232	15,132
無形固定資産		
借地権	913	913
リース資産	0	0
その他	726	724
無形固定資産合計	1,640	1,638
投資その他の資産		
投資有価証券	293	177
出資金	3	3
長期貸付金	17	18
差入保証金	5,935	5,870
敷金	3,201	3,050
繰延税金資産	321	343
その他	214	220
貸倒引当金	△102	△83
投資その他の資産合計	9,884	9,601
固定資産合計	26,757	26,372
繰延資産		
社債発行費	17	18
繰延資産合計	17	18
資産合計	42,511	43,013

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成31年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,010	1,652
短期借入金	75	40
1年内返済予定の長期借入金	2,995	3,061
1年内償還予定の社債	90	130
リース債務	59	46
未払金	2,523	2,041
未払法人税等	341	280
未払消費税等	132	360
賞与引当金	404	626
株主優待引当金	137	123
店舗閉鎖損失引当金	1	1
資産除去債務	32	47
その他	301	725
流動負債合計	9,105	9,138
固定負債		
社債	765	880
長期借入金	5,672	6,506
リース債務	74	51
退職給付に係る負債	1,887	1,870
役員退職慰労引当金	239	209
受入保証金	599	615
資産除去債務	1,347	1,266
繰延税金負債	405	399
その他	4	4
固定負債合計	10,996	11,805
負債合計	20,101	20,943
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,626	8,626
資本剰余金	9,908	9,908
利益剰余金	4,129	3,869
自己株式	△602	△603
株主資本合計	22,060	21,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153	72
土地再評価差額金	△5	△5
その他の包括利益累計額合計	147	67
非支配株主持分	201	201
純資産合計	22,409	22,070
負債純資産合計	42,511	43,013

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年9月1日 至平成31年2月28日)
売上高	30,627	30,478
売上原価	12,159	12,505
売上総利益	18,468	17,972
販売費及び一般管理費	18,387	17,721
営業利益	81	251
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	1
貸倒引当金戻入額	18	0
受取損害賠償金	7	12
その他	21	36
営業外収益合計	49	51
営業外費用		
支払利息	18	19
貸倒引当金繰入額	1	0
その他	30	16
営業外費用合計	50	36
経常利益	81	266
特別利益		
固定資産売却益	0	1
関係会社株式売却益	-	15
受取補償金	78	10
特別利益合計	78	26
特別損失		
固定資産除却損	158	107
店舗関係整理損	31	15
減損損失	51	147
事業支援損	39	-
店舗閉鎖損失引当金繰入額	6	0
特別損失合計	288	271
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△128	22
法人税、住民税及び事業税	120	102
法人税等調整額	3	7
法人税等合計	124	110
四半期純損失(△)	△252	△87
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	6
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△257	△94

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年9月1日 至 平成30年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年9月1日 至 平成31年2月28日)
四半期純損失(△)	△252	△87
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	△80
その他の包括利益合計	8	△80
四半期包括利益	△243	△168
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△248	△174
非支配株主に係る四半期包括利益	5	6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年9月1日 至平成31年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△128	22
減価償却費	674	845
減損損失	51	147
賞与引当金の増減額(△は減少)	275	222
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△75	△29
受取利息及び受取配当金	△2	△1
支払利息	18	19
固定資産除却損	158	107
固定資産売却損益(△は益)	△0	△1
売上債権の増減額(△は増加)	140	243
たな卸資産の増減額(△は増加)	△56	△11
仕入債務の増減額(△は減少)	△248	△352
未払消費税等の増減額(△は減少)	1	227
その他	490	283
小計	1,297	1,722
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△18	△19
法人税等の支払額	△147	△187
法人税等の還付額	17	34
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,152	1,552
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,131	△969
有形固定資産の売却による収入	13	3
無形固定資産の取得による支出	△100	△81
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	16
貸付けによる支出	△1	△5
敷金及び保証金の差入による支出	△7	△21
敷金及び保証金の回収による収入	170	198
その他	△231	△287
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,286	△1,146
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	30	△35
長期借入れによる収入	3,700	2,800
長期借入金の返済による支出	△1,694	△1,898
社債の発行による収入	880	197
社債の償還による支出	△30	△45
配当金の支払額	△164	△165
自己株式の取得による支出	-	△0
非支配株主への配当金の支払額	△1	△5
リース債務の返済による支出	△58	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,661	811
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,527	1,218
現金及び現金同等物の期首残高	11,673	12,114
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,200	13,333

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年9月1日至平成30年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フランチャ イズ事 業	運送事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	24,227	2,075	561	217	3,269	30,350	277	30,627	—	30,627
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	5,106	186	—	324	5,617	246	5,864	△5,864	—
計	24,227	7,181	748	217	3,594	35,968	524	36,492	△5,864	30,627
セグメント利益	826	105	173	132	47	1,286	50	1,337	△1,255	81

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,255百万円には、セグメント間の取引消去△13百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,242百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において46百万円であります。

「フランチャイズ事業」セグメントにおいて、フランチャイズ店への賃貸資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において5百万円であります。

「その他」セグメントにおいて、その他の資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において0百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成30年9月1日至平成31年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フラン チャイズ事 業	運送事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	23,591	2,083	554	237	3,728	30,195	282	30,478	-	30,478
セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	5,033	176	-	343	5,553	261	5,814	△5,814	-
計	23,592	7,116	731	237	4,072	35,749	543	36,293	△5,814	30,478
セグメント利益又は損失 (△)	1,051	△5	186	128	20	1,382	75	1,458	△1,207	251

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,207百万円には、セグメント間の取引消去243百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,450百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において143百万円であります。

「その他」セグメントにおいて、その他の資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において4百万円であります。

以上